

長野市復興だより ワン・ハート

ONE  HEART

復旧・復興から住み続けたい地域づくりへ



豊野地区住民自治協議会

「10.13を伝えていく集い」開催

令和元年台風19号災害から3年となった令和4年10月13日、豊野公民館で「10.13を伝えていく集い」を開催しました。

今年、被災の経験や思いを豊野地区住民の記憶にとどめ、今後の復興の糧にしてもらおうと、過去3年間の映像を見ていただき、被災された中川さんの見事なピアノ演奏を鑑賞しました。最後に、さらなる豊野地区の復興へ向けて、「災害を後世へ伝え、地域で支え合い、賑わいを取り戻そう」との誓いを宣言して閉会しました。



篠ノ井地区住民自治協議会

篠ノ井塩崎地籍堤防修復 ～新たなステージへ～

篠ノ井塩崎地籍で右折する千曲川の本流は、軻良根古(からねこ)神社から横田地籍にかけて越水し、小森地籍でも越水が発生。特に、軻良根古神社付近では川裏側(宅地側)の法面が大きく崩れ、決壊の一手手前の状況でした。篠ノ井約1500世帯が被災した台風19号から3年となり、堤防は修復強化されました。令和4年11月19日『台風災害を乗り越えて』をテーマに、「ながの未来トークin篠ノ井」を開催しました。篠ノ井地区も被災の教訓を忘れることなく新たなステージを目指します。



若穂地区住民自治協議会

災害のピンチをチャンスに変えて

山間部と千曲川支流・本流域を中心に甚大な被害に見舞われた若穂地区では、農業法人等による大規模集約・管理後、大豆栽培・小麦栽培を開始し、肥沃な優良農地に復興させるために取り組んできました。令和2年度には広域共有地協議会を発足し、農地を集約。令和4年度には保全会を設立し、農地維持管理へと繋がりました。この間、災害復興大豆を用いた「綿内産ふっこう豆腐」を開発。直売所、Aコープ、市内給食センター等にも取り扱っていただき、地域内還元商品として水害を乗り越えた復興の願いを地域の皆さま、子供達に伝えています。



長沼地区住民自治協議会

復興から新たなまちづくりへ

長沼地区では復興から新たなまちづくりを目指して長沼地区住民自治協議会に「復興対策企画委員会」と「まちづくり委員会」があります。委員長を中心に住民から公募、及び推薦されたメンバーと共に「安心・安全な地域づくり」と「住みやすいふるさと・魅力ある長沼」を目指して活動しています。今後、長沼地区河川防災ステーションと復興道路の建設が予定されており、防災ステーション予定地では長沼城の遺跡発掘調査が行われています。住民自治協議会事務局は防災ステーション上の複合施設に入る予定で、その時には生まれ変わった長沼を是非見に来てください。



松代地区住民自治協議会

あの日から3年

被災した地区を歩いてみると普段の暮らしがそこにある一方で、空き家や空き地が増え、台風被害を思い起こす景色があります。今年度、松代藩真田十万石まつりが4年ぶりに開催され、多くの人で賑わいました。被災直後から様々な形で松代地区を応援して下さった方々の力があってこそ、取り戻せた日常です。この被災体験を教訓に、紙芝居「伝えよう!水害の怖さ」や「松代防災すごろく」を作成し、地域や学校で防災学習会を行っています。このような防災・減災活動を進めていくことが復興へ繋がっていくと思います。



古里地区住民自治協議会

夢と希望が持てる地域づくりを目指して

古里地区は180戸以上の世帯が被災されましたが、被災者の努力はもとより地域住民一体となった支援により、現在は被災前の状況に復旧しています。この間、災害を忘れずに災害への適切な対応をし、皆で災害を乗り越え、いつまでも住み慣れた地域で暮らしていけるように、被災者へ食器、衣類、食料等の日用品の提供、住民との交流のためもちつき大会やコンサート等の復興支援イベントを開催してきました。生まれ育ったこの地で暮らし続けることができる地域づくりを目指して、これからも地域全員で取り組んでいきます。

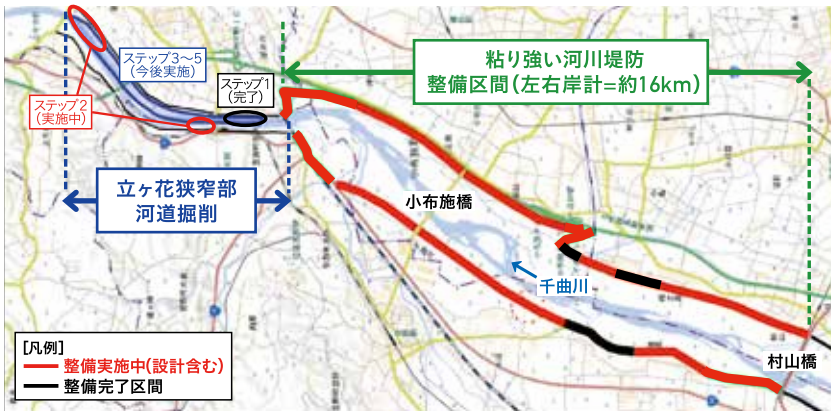


INFORMATION

信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況について

- 信濃川水系(千曲川)では、令和元年東日本台風における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。
- 信濃川流域全体での上下流バランスや氾濫域のリスク等を総合的に勘案しつつ、千曲川本川の水位低下を目指し、河道掘削や遊水地の整備を段階的に進めています。また、狭窄部によるせき上げ影響区間となる「立ヶ花～村山橋」の間について、粘り強い河川堤防を実施しています。
- 工事の進捗については、千曲川河川事務所HPに掲載しています。

整備実施箇所(立ヶ花狭窄部河道掘削・粘り強い河川堤防)



塩崎遊水地の整備

遊水地の整備に向けて、令和4年度は「測量調査」「地質調査」「用地調査」等を実施しています。引き続き、地域のご意見をしっかり聴き、整備を進めてまいります。



立ヶ花狭窄部河道掘削



【ステップ1完了】
令和4年3月末時点

立ヶ花狭窄部の河道掘削のうち、「ステップ1」については、令和3年度中に掘削工事が完了しています。現在、立ヶ花橋下流「ステップ2」の箇所掘削工事を実施しています。

【ステップ2実施中】
令和4年10月末時点

【長野市の取組み】
河道掘削で発生する土砂の有効活用策として、土砂の受入希望の公募を実施しています。
※受入先が「長野市」であることや土量規模等の条件があります。詳細は、長野市HPをご確認ください。



粘り強い河川堤防の整備



現在護岸ブロックの施工を行っているほか、ブロックの施工が完了した工事では覆土工や植生工を行っています。
※毎月の施工内容については、工事箇所によって異なります。

長沼地区河川防災ステーションの整備



長沼地区で河川防災ステーションの整備を実施しています。引き続き住民の皆様のご意見をお聴きしながら事業を進めてまいります。

【令和4年10月 穂保区住民集会】

※図はイメージであり、今後の検討で形状等が変更となる場合があります。



千曲川河川事務所WEBサイト



信濃川水系(千曲川)緊急治水対策プロジェクトの詳細はこちら



浅川

浅川(古里地区・長沼地区・豊野地区)の災害復旧工事は、令和2年9月未完了、堆積土砂の撤去は、令和4年6月未完了



岡田川

岡田川(篠ノ井地区)の災害復旧工事は、令和3年3月未完了



神田川

神田川(松代地区)の護岸復旧及び鉄橋撤去後、令和3年6月切り欠け部にパラペット設置完了



高岡川

高岡川(若穂地区)の災害復旧工事は、令和3年12月未完了



排水機場

令和4年3月末浅川第一排水機場の災害復旧工事が完了となり、全排水機場の災害復旧工事が完了



その他治水対策(流域治水)

- ◎既存農業用ため池を利用した流出抑制対策を実施
- ◎雨水幹線排水路整備の推進
- ◎堆積土砂の撤去等、適切な維持管理を実施



①仮設住宅から転居された後も生活支援相談員が皆さまのご自宅を訪問します

被災された皆さまの孤立防止に向けた見守りや、日常生活や今後の生活に向けたご相談に応じるため、生活支援相談員が巡回訪問します。お問い合わせ、ご相談等がございましたらお気軽にご連絡ください。

河川等の
復旧状況はこちら
(長野市ホームページ)



お問い合わせ先

社会福祉法人長野市社会福祉協議会 長野市生活支援・地域ささえあいセンター
〒380-0813 長野市大字鶴賀緑町1714-5 長野市ふれあい福祉センター2階
TEL: 026-219-5251 受付時間:月～金(祝日・年末年始を除く)8:30～17:00

②住宅の復旧に向けた技術的アドバイスを継続して行っています

建築住宅に関する様々なご相談に対して、建築士等の専門家が電話などによる技術アドバイスを随時行います。また、相談内容に応じて専門機関の紹介をします。お電話でご相談ください。

お問い合わせ先

長野県建築相談連絡会(事務局:(公社)長野県建築士会)
TEL: 026-235-0561(月～金曜日(祝休日除く)10:00～16:00) e-mail:n-shikai@avis.ne.jp

③被災代替家屋に係る固定資産税・都市計画税の減額特例制度について

令和元年東日本台風の災害によって滅失又は損壊した家屋(被災家屋)の所有者が、令和6年3月31日までに被災家屋に代わる家屋(代替家屋)を新たに取得又は新築等した場合は、申告により税額が減額される制度があります。

申告期限は代替家屋を取得した日の翌年1月31日までです。

この制度の詳しい適用要件などについては長野市ホームページまたは資産税課へお問い合わせください。

お申し込み・お問い合わせ先

資産税課家屋評価担当(TEL: 026-224-7176) e-mail: sisanzei@city.nagano.lg.jp

④住宅金融支援機構からのお知らせ

令和元年東日本台風の災害復興住宅融資の受付期限は **令和5年11月30日まで**となっています。

ご相談は、お客さまコールセンター(災害専用ダイヤル)0120-086-353(通話無料)へ



住宅金融支援機構
Japan Housing Finance Agency

復興だよりは、本号が**最終号**です

令和2年3月の創刊号から今回で20号となります。

これまで、令和元年東日本台風災害からの復旧・復興の状況や、被災者支援情報等をお知らせしてまいりました。あわせて、被災地で復興のために頑張っている市民の方や団体の活動や声もお届けしてまいりました。

あの未曾有の大災害から3年以上が経過しました。本市では長野市災害復興計画に基づき、着実な進捗を図っているところです。

また、孤立防止など支援が必要な方には、引き続き、被災者に寄り添った心や生活のケアを継続してまいります。

今後は、復興状況や支援情報などを広報ながの、ホームページ、SNSなどによりお伝えしてまいりますので、よろしくお願いたします。

ONE HEART



願いはひとつ



長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART

Issue 20 令和4年12月 【発行】長野市企画政策部復興推進特別対策室
電話:026-224-9728 e-mail:fukko@city.nagano.lg.jp
詳しい情報、市からのお知らせは、右記のURLから確認願います。URL: <https://www.city.nagano.nagano.jp/>

R70

古紙配合率70%以上の再生紙を使用しています